

手術看護認定看護師の紹介

手術看護認定看護師 坂本 知寿子

平成21年現在、群馬県内には5名の手術看護認定看護師がいます。それぞれ病院の手術室に所属し、安全・安楽な手術を目指し、日々活動しています。「手術」と聞くと、「怖い」「よく分からない」といった印象があると思います。ひどく心細い気持ちにもなるでしょう。そんな患者さんの一番傍で、少しでも安心して手術に立ち向かい、安全な手術ができるように支える事が、私の仕事であると思っています。



手術看護認定看護師の活動の一部をご紹介します！

(1) 手術の当日に手術前訪問をしています

安全に手術をするために、手術をする準備が心身ともに整っているか、何か分からない事がないかなど患者さんに会ってお話を聞いたり、カルテを確認したりします。ここで得た情報は、麻酔科医師と共有し、その患者さんに合った看護計画を立てます。手術後は、病室へ術後訪問を行うこともあります。

(2) 安全に手術ができるように見守る監視役、そして患者さんの代弁者になります

全身麻酔などで眠ってしまう手術の場合、自分のことが自分でできない状態になります。このような時でも、患者さんが苦痛でないように、そして不利益を被るようなことがないように看護いたします。手術によって予想されること（例えば、長時間同じ姿勢の手術による関節の痛み、皮膚への影響など）は事前に患者さんに説明し、そのような事が起きないように注意していきます。

(3) 手術看護の質向上を目指し、手術室スタッフ全員で学習会を行っています

手術は小児から高齢者までが対象となり、外科や産婦人科、整形外科など幅広い分野に及びます。安全に手術を行うには、これらの知識を得て実践に繋げていかなければなりません。月1回、学習会の時間を設けてスタッフと知識の取得、共有を行っています。



手術のことでご不明な点などはお気軽にお問い合わせください

安全に手術を受けるためのメッセージ

- 「禁煙」 タバコは8週間前にやめましょう。
- 「栄養」 バランスよく規則的に摂りましょう
- 「睡眠」 夜更かしはしないようにしましょう
- 「清潔」 虫歯は治しましょう 風邪に注意！
- 「相談」 信頼できる人と不安を分け合いましょう